

日本天文学会早川幸男基金渡航報告書

2002年9月10日採択

申請者氏名	成影典之(会員番号 3991)
連絡先住所	〒607-8471 京都市山科区北花山大峰町17 花山天文台
所属機関	京都大学大学院理学研究科宇宙物理学教室
職あるいは学年(年齢)	M2
電子メール	naru@kwasan.kyoto-u.ac.jp
渡航目的	研究集会でのポスター発表
講演・観測・研究題目	Simultaneous observations of Moreton waves in H α and Soft X-ray
渡航先(期間)	アメリカ・ヒューストン(2002年10月9日~10月18日)

私は、2002年10月10~19日にアメリカ・ヒューストンで行われた 34th COSPAR SCIENTIFIC ASSEMBLY - THE SECOND WORLD SPACE CONGRESS に参加してきました。COSPAR は2年に1度開かれる国際会議で、宇宙に関する様々なセッションがある最大級の国際会議です。今回はアメリカで開催されたこともあって、在米の著名な研究者が多数参加されておりました。今回の渡航目的は、第一に、太陽フレアによって発生する衝撃波 (Moreton wave と X-ray wave) について「Simultaneous observations of Moreton waves in H α and Soft X-ray」というタイトルでポスター発表をすることでした。そして第二は、6月に ApJ Letters から出版された論文「Simultaneous observation of a Moreton wave on Nov 3, 1997 in H α and Soft X-rays」を関係する研究者の方々に手渡すことでした。

ポスター発表者には1分間のポスター紹介が用意されていたのですが、そのことを知らずぶっつけ本番で自己紹介とごく簡単な研究紹介をしました。緊張がとけた後で振り返ると、こう言えば良かった、ああ言えば良かったと思う英語スピーチ初体験でした。残念ながらポスター会場には人がまばらで、ポスターを前にしての説明は出来なかったのですが、関係する研究者の方々を指導教官の柴田先生に紹介していただき、論文とミニポスターを手渡し内容を説明しました。今回の会議には論文で引用した本『Solar Magnetohydrodynamics』の著者であるプリースト先生も参加されており、持参した本にサインとメッセージを頂き、私の研究の話聞いていただけました。

今回の渡航で特に意義深かったのは、H α 観測の第一人者であるマーティン先生とお話する機会が得られたことです。私の研究テーマである Moreton wave のこととお話すると、大変興味深く聞いてくださいました。その話の中でマーティン先生の旧姓がスミスといい、発見当初から Moreton wave を研究されていたスミス先生で、私が引用した論文の著者だということがわかりました。同じテーマを研究している外国の方とのディスカッションは今回が初めてで、つたない英語で疑問に思っていることを質問しました。マーティン (=スミス) 先生は熱心に質問に答えてくださり、英語の聞き取りになれていない私のために筆談で議論して下さいました。先生とのディスカッションが書かれたノートは今回の渡航の最大の成果になりました。

このように自分の研究テーマと関係ある方々とお話できたことで今後の研究へのヒントと励みが得られ、帰国後の研究に大きく役立っています。今回の渡航によって、私は研究者として非常に貴重な経験をすることが出来ました。

最後になりましたが、渡航を援助して頂きました日本天文学会、ならびに早川基金関係者の皆様にあらためて感謝いたします。ありがとうございました。